田尻町文化財調査報告　第21集

田尻町内遺跡群発掘調査概要14

２０１３．３

田尻町教育委員会

は　じ　め　に

人間が住みよい環境を創造するために行われる開発行為、これらがもたらす、文化財や自然に対する影響には大きいものがあり、近年開発等により埋蔵文化財が破壊されてきています。

埋蔵文化財（遺物・遺構）を包蔵している遺跡は、普段、私達の目に触れることはほとんどありません。何百年、何千年もの永い年月の間、地中の中で埋蔵文化財は保存されてきました。

遺跡には先人達の大切なメッセージが埋蔵文化財として託されています。そのメッセージを現在の人々、更には未来の人々に伝えてゆかなければなりません。

本書は、平成24年度に田尻町教育委員会が実施した埋蔵文化財調査の成果を収録しています。この地域の歴史像をさらに豊かにするための資料として活用していただければ幸いです。

概要を報告するにあたり、調査にご協力いただいた地元の方々並びに関係各位にお礼申し上げるとともに、今後とも文化財保護にご理解とご協力を賜りますようお願い申しあげます。

平成25年3月31日

田尻町教育委員会
教育長　用　松　　進

例　　言

1.　本書は、田尻町教育委員会が平成 24年度に実施した、大阪府泉南郡田尻町域における埋蔵文化財緊急発掘調査の概要報告である。

2.　調査は田尻町教育委員会学事課文化財保護係　中野篤史を担当者として、平成24年４月１日に着手し、平成25年３月31日に終了した。

3.　本書における図面の方位については磁北を示す。

4.　現地調査にあたっては、土地所有者をはじめとする工事関係者等多くの方々の協力を得た。感謝の意を表する。

5.　本書の執筆・編集は中野がおこなった。

6.　本書は、平成24年２月から平成25年１月までに受理した届出及び実施した調査を掲載している。

目　　次

第１章　文化財調査の状況…… 1
　１．田尻町の位置と環境…… 1
　２．平成24年度の埋蔵文化財調査の現状…… 1
第２章　田尻町内遺跡群と周辺遺跡の概要…… 2
第３章　調査の概要…… 5
　各種開発確認調査…… 6
　田尻遺跡第38次調査…… 7
報告書抄録 …… 巻末

挿　　図

図１　田尻町位置図…… 1
図２　田尻町周辺の遺跡分布図…… 3
図３　調査地点位置図（各種開発確認調査）…… 5
図４　調査区設定図（各種開発確認調査）…… 5
図５　土層断面図（各種開発確認調査）…… 6
図６　旧河道推定図（各種開発確認調査）…… 6
図７　調査地点位置図（田尻遺跡第38次調査）…… 7
図８　調査区設定図（田尻遺跡第38次調査）…… 8
図９　土層断面図（田尻遺跡第38次調査）…… 8

挿　　表

表１　過去５年間の届出件数表…… 1
表２　遺跡別発掘届出件数表…… 1
表３　届出・通知・試掘依頼一覧…… 2

図　　版

図版１　Tr.1全景（各種開発確認調査）　Tr.2全景（各種開発確認調査）
図版２　Tr.1全景（田尻遺跡第38次調査）　Tr.2全景（田尻遺跡第38次調査）

第１章　文化財調査の状況

１．田尻町の位置と環境

田尻町は大阪府の南西部、大阪湾海岸線の南部に位置し、東は泉佐野市、南西は泉南市に接し、北西は大阪湾に面する。町域の面積は約4.96平方㎞である。海岸線に並行して南海本線が、町域南部を国道26号線がとおり、泉南地域の基幹交通路となっている。町域の北東部から中央部にかけて田尻川、南西部を樫井川が流れ大阪湾に注いでいる。

図１　田尻町位置図

２．平成24年度の埋蔵文化財調査の現状

田尻町は、公共工事が減少し、また、不況下の影響により民間の小規模な分譲住宅や共同住宅等の開発も減少している。

平成24年度における文化財保護法第93条、第94条に基づく土木工事等による埋蔵文化財発掘の届出は個人住宅３件、民間開発等４件、公共工事１件の計８件である。また、遺跡範囲外での各種開発確認調査のための試掘依頼は今年度１件となっている。

過去５年間の文化財保護法関係の届出件数は表１、表２のとおりである。また、平成24年度調査地は表３のとおりである。

	個人住宅	民間開発	公共工事	合計
平成20年度	0	2	2	4
平成21年度	2	4	5	11
平成22年度	3	7	2	12
平成23年度	2	3	0	5
平成24年度	3	4	1	8

（遺跡発見届出を含む）

表１　過去５年間の届出件数表

番号	遺　跡　名	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
1	田 尻 遺 跡	2	7	8	3	6
2	夫婦池遺跡	1				
3	船岡山遺跡	1	1		1	1
4	嘉祥神社本殿					
5	船岡山南遺跡					
6	藤 波 遺 跡					
7	吉見藩陣屋跡		2	4		
8	羽倉崎遺跡		1			
9	樫井西遺跡					
10	林 嵜 遺 跡				1	1
11	中 島 遺 跡					

（遺跡発見届出を含む）

表２　遺跡別発掘届出件数表

	申請者	申　請　地	原　　因	遺跡名	指導事項	検出遺構	出土遺物
1	**田尻町**	**田尻町嘉祥寺地内**	**水道管埋設**	**林嵜遺跡**	**慎重工事**		
2	民間開発事業者	田尻町吉見地内	分譲住宅建築	範囲外	試掘調査	なし	なし
3	**個人**	**田尻町吉見地内**	**個人住宅建築**	**田尻遺跡**	**慎重工事**		
4	**個人開発事業者**	**田尻町吉見地内**	**店舗建築**	**田尻遺跡**	**発掘調査**		
5	**個人**	**田尻町嘉祥寺地内**	**個人住宅建築**	**船岡山遺跡**	**工事立会**		
6	**個人開発事業者**	**田尻町吉見地内**	**共同住宅建築**	**田尻遺跡**	**慎重工事**		
7	**民間開発事業者**	**田尻町吉見地内**	**宅地造成**	**田尻遺跡**	**発掘調査**	**なし**	**なし**
8	**個人**	**田尻町吉見地内**	**個人住宅建築**	**田尻遺跡**	**慎重工事**		
9	**大阪ガス㈱**	**田尻町嘉祥寺地内**	**ガス管埋設**	**田尻遺跡**	**慎重工事**		

※太字は文化財保護法に基づく届出・通知、平成23年度2月以降分を含む

表3　届出・通知・試掘依頼一覧

第２章　田尻町内遺跡群と周辺遺跡の概要

田尻町内には縄文時代から近世までの11ヵ所の遺跡があり、そのほとんどの遺跡は発掘調査件数が少なく、遺跡の性格が不明のものがほとんどで遺物散布地となっている。

羽倉崎遺跡

田尻町の北東部、主に泉佐野市に広がる標高3ｍ～6ｍに位置する古墳時代の遺物散布地である。古くに古代製塩土器が出土したとの記録があり、泉佐野市教育委員会による発掘調査が数回行われ90－01区の調査で江戸時代後半の陶器が出土している。

田尻町教育委員会による平成16年の調査で、耕作に伴う溝、水溜遺構、河川跡を検出している。包含層より土師器、瓦器が出土している。

船岡山遺跡

船岡山遺跡は、田尻町と泉佐野市にまたがる、樫井川の右岸に沿う沖積段丘上に位置する縄文時代晩期から弥生時代前期にかけての遺物包含層がある遺跡である。これまでに大阪府教育委員会、泉佐野市教育委員会による同遺跡の調査で溝、土坑、柱穴が検出されている。

元は船岡山Ａ～Ｃ地点に分かれていた遺跡であるが、調査を進めていく中で１つの遺跡であると判明し、昭和61年に３つの地点が集約され、船岡山遺跡となった。

主に、縄文時代後期～弥生時代の集落跡に位置づけでき、泉佐野市による55－02区の調査で庄

内式甕や布留式甕、製塩土器、高杯形土器等を伴った竪穴住居1棟、土坑、溝を、84－03区調査時に縄文時代晩期船橋式土器、弥生時代前期土器を伴った掘立柱建物野倉庫1棟、土坑、溝を、91－03区調査で弥生時代後期～古墳時代前期の掘立柱建物倉庫1棟をそれぞれ検出し、遺物は石器、弥生土器、土師器、須恵器、瓦器、陶磁器出土している。また、同市の04－03区で遺構は出ていないが中世段階と思われる土師質蛸壺片、近世の土坑や溝、落ち込み等が数箇所の調査区から検出されており、各時代にわたり人々の生活がうかがえる。同市の03－01区調査で溝等とともに遺構・遺物の密度から縁辺部が判明した。

船岡山南遺跡

田尻町の南東部、泉佐野市に広がる標高8ｍ～10ｍに位置する弥生時代～中世にかけての遺物散布地である。泉佐野市による88－01区調査で遺物が若干数と、94－01区で中世の土師器、瓦器等が出土しているが、遺構は検出されていない。

藤波遺跡

田尻町の南部、主に泉佐野市に広がる標高10ｍ～12ｍに位置する中世の遺物散布地である。平成20年度泉佐野市による発掘調査では溝、ピットが検出され、土師器、瓦器、陶磁器が出土している。

図２　田尻町周辺の遺跡分布図　1/20,000

夫婦池遺跡

夫婦池遺跡は、田尻町と泉佐野市にまたがる、標高7ｍ～9ｍにかけて位置する弥生時代から古墳時代にかけての遺物散布地である。泉佐野市による昭和61年度の調査では、中世廃絶の溝１条、江戸時代後半に廃絶したと思われる井戸、5世紀代の須恵器を含むピット、中世から現代にいたるスキ溝が検出されている。その他、土師器、瓦器、須恵器、陶磁器等の遺物が遺物包含層から出土している。

嘉祥神社本殿

桃山建築様式を伝える江戸時代初期の神社建築物。大阪府指定文化財。

吉見藩陣屋跡

田尻町の北部、旧街道（浜街道・孝子越街道）沿いの標高4ｍ～5ｍに位置する中世～近世にかけての遺物散布地である。これまでの調査では、粘土採掘坑などが検出されている。遺物は、土師器、須恵器、瓦器、陶磁器が出土している。なお、遺跡内には大阪府指定文化財の田尻歴史館（旧谷口家吉見別邸）がある。

林嵜遺跡

田尻町の北部、旧街道（浜街道・孝子越街道）沿いの標高2ｍ～4ｍに位置する近世墓地跡である。近代に移転された。これまでの調査により土坑、スキ溝などが検出されている。遺物は、陶磁器のほか弥生土器、土師器が出土している。

中島遺跡

田尻町の中央部に所在する標高3.5～4ｍに位置する中世～近世の集落跡である。平成15年度に実施した試掘調査により新規に発見した。土坑、小穴、柱穴等の遺構が検出されている。遺物は瓦器、土師器が出土している。

田尻遺跡

田尻遺跡は、標高5ｍ～7ｍにかけて位置する古墳時代から中世にかけての遺物散布地である。
昭和60年の大阪府教育委員会の調査では弥生時代後期、古墳時代後期から奈良時代、中世の3時期の遺構・遺物が確認されている。弥生時代後期の溝が検出されている。昭和62年の調査では中世以降の農耕に伴う溝や近世以降の土坑が検出されている。平成６年の調査では中世に属する溝、土坑やピットが確認されている。

樫井西遺跡

田尻町の南部、主に泉佐野市に広がる標高10ｍ～11ｍに位置する。昭和60年度の発掘調査で新たに発見された遺跡で、弥生時代の方形周溝墓群と古墳時代～中世の集落跡である。泉佐野市による85－01区調査から弥生時代の総柱建物、方形周溝墓、ピット等が検出されており、特に同市の95－01区調査では、古墳時代中期の住居３棟と掘立柱建物2棟、土坑２基、溝、堀、弥生時代の方形周溝墓群（６基）、さらに１号住居跡からはカマドや貯蔵穴などが検出され、当時の生活を知る重要な資料となった。平成９年度の同市の調査では、土坑から特殊な場所でしか出土しないとされる韓式系土器が出土し、当該地が祭祀のために使用されていた可能性もうかがえる。99－

01区の調査では中世の溝が検出され、屋敷の区画溝と考えられている。遺物は、弥生土器、土師器、須恵器、瓦器、陶磁器などが出土しており、弥生時代～近世の幅広い時期のものが確認されている。

第３章　調査の概要

平成24年２月以降に実施した、遺跡内、遺跡外での試掘調査２件についてその概要を記す。

各種開発確認調査

申 請 者：民間開発事業者

調 査 地：田尻町吉見地内

調査原因：分譲住宅の建築

申請面積：893.75㎡

調査面積：約３㎡

調査期間：平成24年２月22日

調査の概要

今回の調査は、分譲住宅の建築に伴い実施した各種開発確認調査である。調査地は標高５ｍに位置している。

開発計画地に２箇所の調査区を設定し、約３㎡について調査を実施した。

調査区(Tr.1)は計画地の南西部に幅1ｍ、長さ1.5ｍの調査区を設定し遺物、遺構に

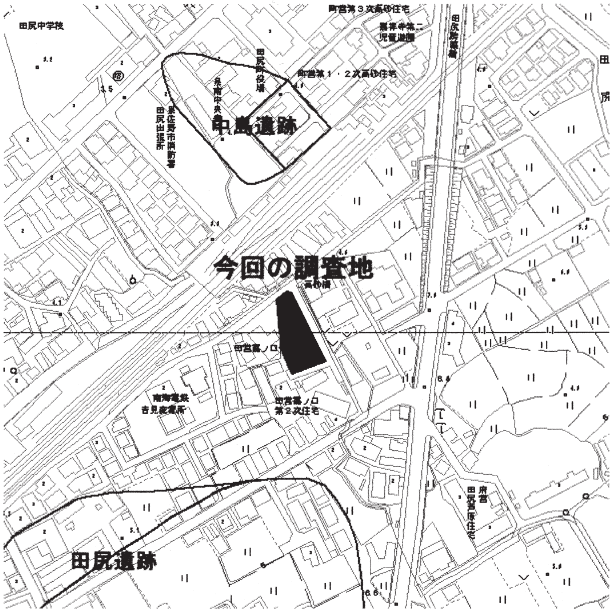


図３　調査地点位置図（1/5,000）

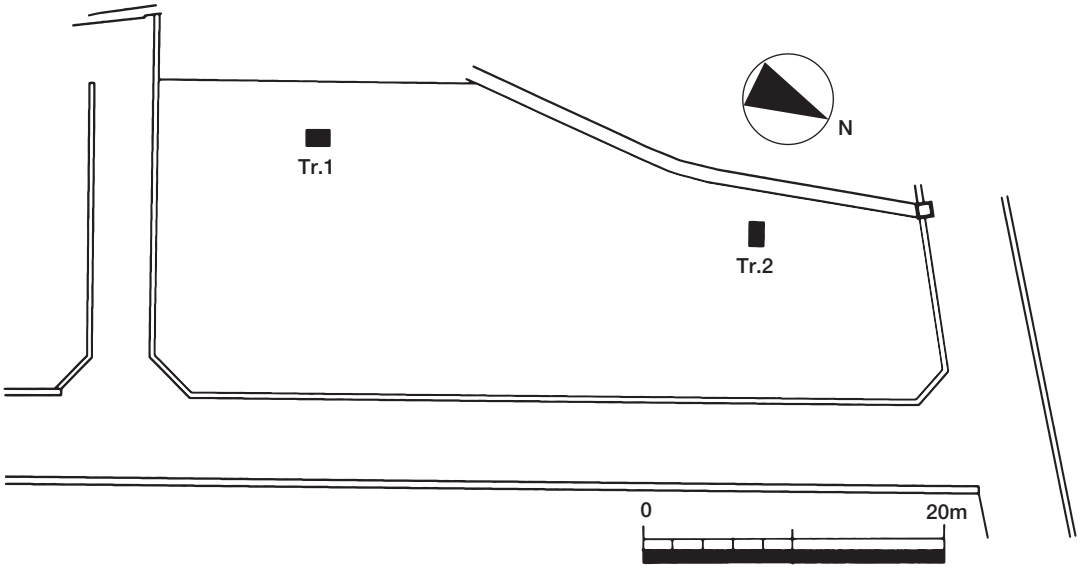


図４　調査区設定図（1/500）

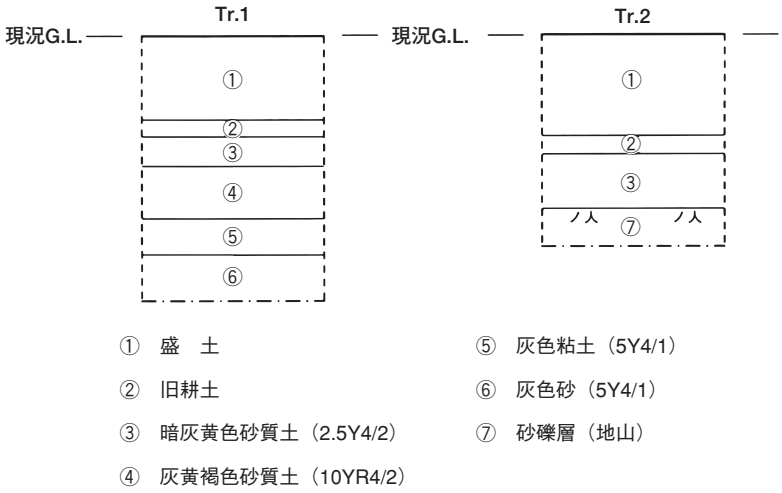


図５　調査区土層断面図（1/40）

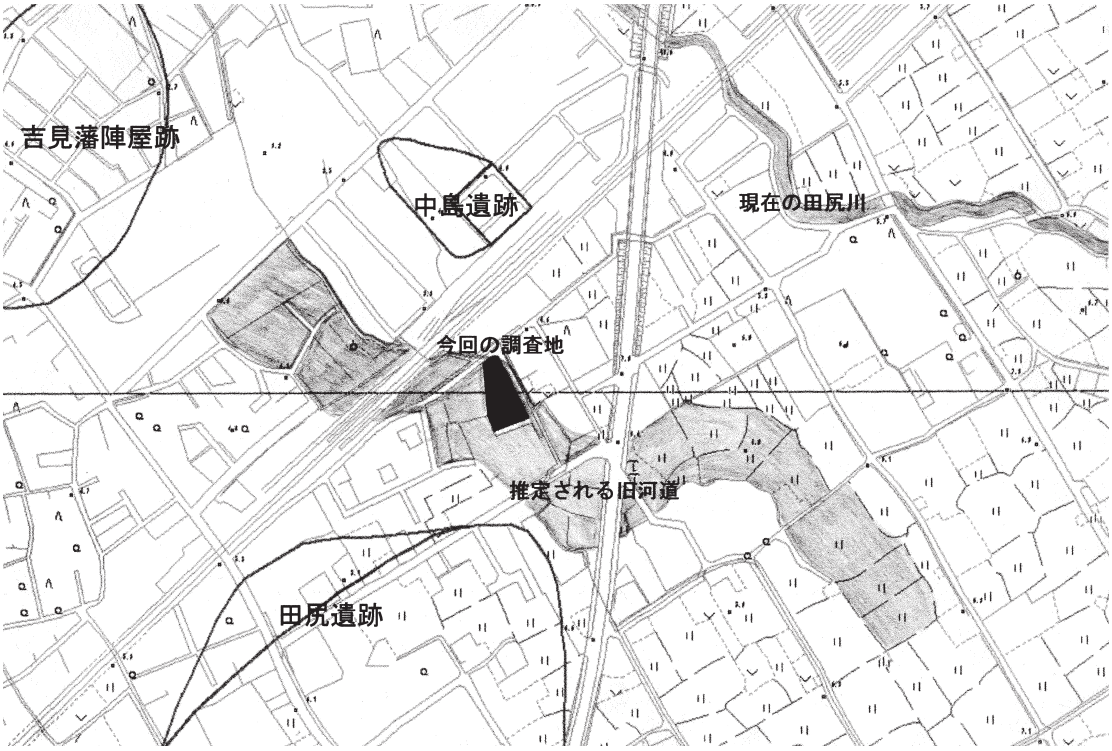


図６　旧河道推定図

注意しながら重機により掘削した。

Tr.1の層序は上から下に①盛土 (層厚約46㎝)、②旧耕土（層厚約10㎝）、③暗灰黄色砂質土（2.5Y4/2、層高約16㎝)、④灰黄褐色砂質土（10YR4/2、層厚約30㎝)、⑤灰色粘土（5Y4/1、層高約20㎝）、⑥灰色砂（5Y4/1）の順に堆積している。灰色砂より下層は湧水があり、地山は確認できなかった。遺構、遺物は検出していない。

調査区（Tr.2）は計画地の北西部に幅１ｍ、長さ1.5ｍの調査区を設定し遺物、遺構に注意しな

がら重機により掘削した。

Tr.2の層序は上から下に①盛土 (層厚約54㎝)、②旧耕土（層厚約10㎝）、③暗灰黄色砂質土（2.5Y4/2、層高約30㎝)、⑦砂礫層の順に堆積している。調査区（Tr.1）でみられた灰色粘土及び灰色砂は堆積していない。遺構、遺物は検出していない。

今回の申請地については、周囲に中世の集落跡である中島遺跡や弥生時代から古墳時代の生産遺跡と思われる田尻遺跡があり、未発見の遺跡の存在する可能性も想定された。調査の結果、土層の堆積状況から判断すると時期は不明であるが樫井川が氾濫した時の流路跡の一つに該当するものと思われる。

田尻遺跡第38次調査

申 請 者：民間開発事業者

調 査 地：田尻町吉見地内

調査原因：宅地造成

申請面積：1,881.23㎡

調査面積：約12㎡

調査期間：平成24年10月25日

調査の概要

今回の調査は、宅地造成に伴い実施した田尻遺跡第39次調査である。調査地は標高5ｍに位置している。

開発計画地に2箇所の調査区を設定し、約12㎡について調査を実施した。

調査区（Tr.1）は計画地の中央部やや北よりに幅2ｍ、長さ3ｍの調査区を設定し遺物、遺構に注意しながら重機により掘削した。

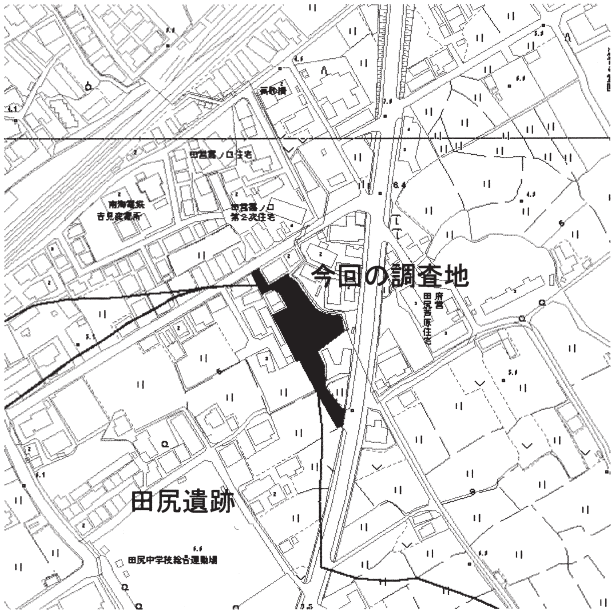


図7　調査地点位置図（1/5,000）

Tr.1の層序は上から下に①盛土 (層厚約48㎝)、②旧耕土（層厚約30㎝）、地山・明黄褐色粘質土（10YR6/6）の順に堆積している。③灰黄褐色砂質土（10YR4/2）は近世末から近代の粘土採掘坑の埋積土である。粘土採掘坑以外の遺構、遺物は検出していない。

調査区（Tr.2）は計画地の中央部部やや南よりに幅2ｍ、長さ3ｍの調査区を設定し遺物、遺構に注意しながら重機により掘削した。

Tr.2の層序は上から下に①盛土 (層厚約110㎝)、②旧耕土（層厚約15㎝）、地山の順に堆積している。粘土採掘坑以外の遺構、遺物は検出していない。

今回の調査地は田尻遺跡の縁辺部にあたり、旧耕土下が地山となっていることから、以前に削平を受けているようである。

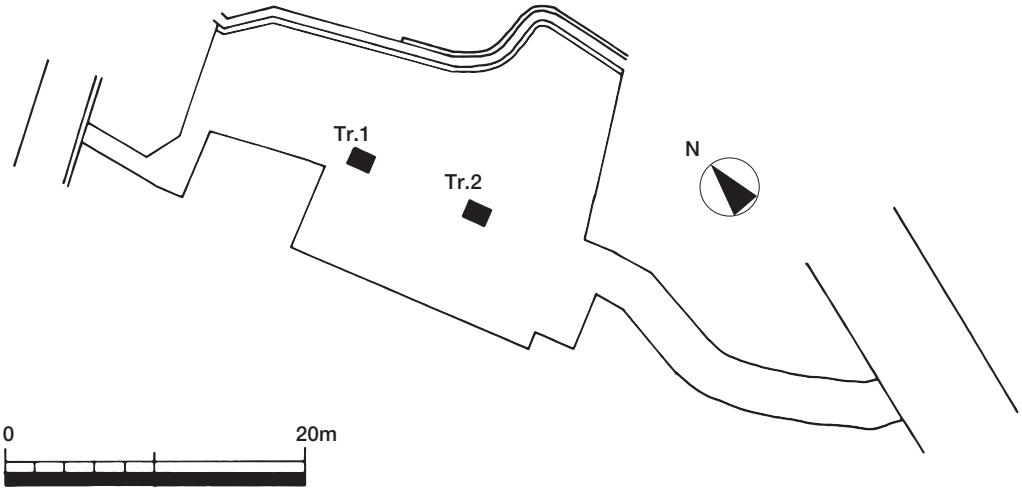
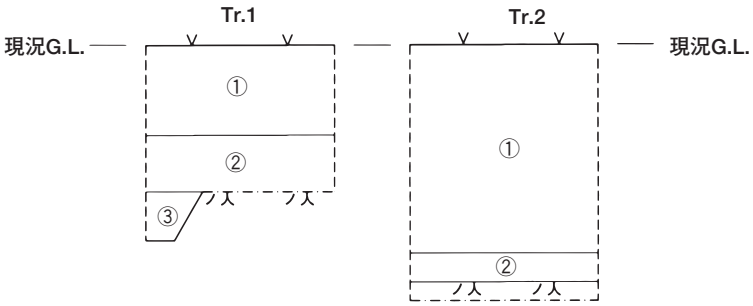


図 8　調査区設定図（1/500）



① 盛土

② 旧耕土（盛土）

③ 灰色砂質土（5Y5/1）

図 9　土層断面図（1/40）

図　　版

図版1

Tr.1全景（各種開発確認調査）

Tr.2全景（各種開発確認調査）

図版2

Tr.1全景（田尻遺跡第38次調査）

Tr.2全景（田尻遺跡第38次調査）

報　告　書　抄　録

ふりがな	たじりちょうないいせきぐんはっくつちょうさがいよう
書名	田尻町内遺跡群発掘調査概要
副書名	
巻次	14
シリーズ名	田尻町文化財調査報告
シリーズ番号	第21集
編著者名	中野篤史
編集機関	田尻町教育委員会
所在地	大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺８８３番地１
発行年月日	２０１３年3月３１日

所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号				(㎡)	
遺跡範囲外	大阪府(おおさかふ) 泉南郡(せんなんぐん) 田尻町(たじりちょう) 吉見(よしみ)			34° 39′ 203″	135° 29′ 139″	平成24年 2月22日	3	分譲住宅 建築
田尻遺跡 第38次	大阪府(おおさかふ) 泉南郡(せんなんぐん) 田尻町(たじりちょう) 吉見(よしみ)			34° 39′ 090″	135° 29′ 178″	平成24年 10月25日	12	宅地造成

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
遺跡範囲外			なし	なし	
田尻遺跡 第38次	散布地	古墳～中世	なし	なし	

田尻町文化財調査報告　第21集

田尻町内遺跡群発掘調査概要14

２０１３年３月

編集・発行　　田尻町教育委員会
〒598－0091
大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺883番地１
TEL072－466－8801

印　　刷　　小笠原印刷株式会社
大阪府泉佐野市新安松2丁目4－1